

平成24年度事業報告書

平成24年度は、経済が伸び悩む中、引き続き東日本大震災による災害廃棄物の広域処理支援や、放射性物質汚染問題という大きな課題に直面する一年となった。

そうした中で東京産業廃棄物協会は、会員各社と事務局協力の下、災害廃棄物の都内処理の実施に貢献するとともに、被災地支援、再生砕石利用促進、「産業廃棄物と環境を考える全国大会」の東京開催、千葉県との連携推進、委員会活動の一層の活性化など活発に行動し、次のような事業を行った。

1. 適正処理推進事業（公益的事業）

(1) 調査研究事業

1) 調査研究

法制度の改正、災害廃棄物や放射性物質汚染廃棄物に係る制度と運用の動向等について情報収集を行うとともに、温室効果ガス削減規制など会員が直面する課題の解決や関係機関に必要な提案を行っていくため、調査研究を行い、要望等を実施した。

2) 普及啓発

調査研究等により得た結果や情報等については、機関誌『とうきょうさんばい』やホームページ、各種研修会、相談業務を通して会員に提供した。

(2) 研修事業

1) 一般研修事業

適正処理とリサイクルを広く推し進めていくため、各種研修会、講習会を実施した。また、昨年度に引き続き、東京都から「健全な静脈ビジネスの発展に向けた講習会」事業を受託実施した。

① 健全な静脈ビジネスの発展に向けた講習会 [東京都受託事業] 366名

対象者：東京都知事の許可を受けている全処理業者（13,174社）

ア 適正処理の基礎知識及び実務に関する講習会

期日：第1回 平成25年 2月 6日 45名

講師：(株)五十嵐商会

場所：上野ANNEX（台東区）

期日：第2回 平成25年 2月 7日 41名

講師：(公財)東京都環境公社

場所：上野ANNEX（台東区）

期 日 : 第3回 平成25年 2月18日 45名
講 師 : (株)五十嵐商会
場 所 : 上野ANNEX (台東区)

期 日 : 第4回 平成25年 2月19日 44名
講 師 : (公財)東京都環境公社
場 所 : トヨタドライビングスクール東京 (立川市)

期 日 : 第5回 平成25年 2月25日 43名
講 師 : (株)五十嵐商会
場 所 : トヨタドライビングスクール東京 (立川市)

イ 静脈産業をめぐる最新状況に関する講習会

期 日 : 平成25年 3月14日 148名

テーマ : アップサイクル ～ポリエステル製品を通じた事例紹介～
プラスチックリサイクル製品の高度化を目指して

講 師 : 帝人フロンティア (株) 【パネリスト】
エム・エム・プラスチック (株) 【パネリスト】
(公財)東京都環境公社 【コーディネーター】

場 所 : 砂防会館「シェーン・バツハサボー」(千代田区)

ウ 適正処理の基礎知識及び実務に関する講習会 [追加講習会・受託事業外]

期 日 : 平成25年 3月22日 75名

講 師 : (公財)東京都環境公社

場 所 : 東京都トラック総合会館 (新宿区)

② 産業廃棄物処理実務者研修会 基礎コース 139名

[実施機関 : (公社)全国産業廃棄物連合会 当協会実施協力]

対象者 : 排出事業者・処理業者における実務担当者 等

期 日 : 平成25年 2月13日

講 師 : (公社)全国産業廃棄物連合会

場 所 : ベルサール西新宿 (新宿区)

③ 放射性物質汚染廃棄物の処理に関する講習会 68名

[実施機関 : (公財)日本産業廃棄物処理振興センター 当協会実施協力]

対象者 : 排出事業者・処理業者における実務担当者 等

期 日 : 平成24年11月27日

講 師 : (公財)日本産業廃棄物処理振興センター

場 所 : ベルサール西新宿 (新宿区)

④ 医療廃棄物処理研修会 159名

ア 医療廃棄物処理従事者への研修会

対象者 : 特別管理産業廃棄物処理業者 等

期 日 : 平成25年 3月 5日 35名

テーマ : 医療廃棄物適正処理の新システムについて
環境配慮契約法基本方針について
処理料金の低価格化問題について

講師 : (公財) 東京都環境公社
(社) 東京産業廃棄物協会
(株) クレハ環境

場所 : (公財) 東京都環境公社 会議室 (墨田区)

イ 医療廃棄物適正処理研修会

対象者 : 特別管理産業廃棄物管理責任者 等 1 2 4 名

期日 : 平成 2 5 年 3 月 2 3 日

テーマ : 法改正と排出事業者責任について
東京都医師会・医療廃棄物適正処理推進事業の新方式について
在宅医療廃棄物の処理について
医療廃棄物と適正処理

講師 : 東京都環境局廃棄物対策部産業廃棄物対策課
(公財) 東京都環境公社
(社) 日本医師会
(社) 東京産業廃棄物協会

場所 : 新宿 N S ビル スカイカンファレンスホール A B (新宿区)

2) 講習会事業 (許可申請に関する講習会)

東京都内で実施される許可申請に関する収集・運搬、処分課程及び特別管理産業廃棄物管理責任者の講習会を、実施機関である(公財)日本産業廃棄物処理振興センターに協力して実施した。

① 新規許可申請講習会 1, 0 9 6 名

ア 産業廃棄物の収集・運搬課程

期日	: 第 1 回	平成 2 4 年	5 月 1 7 日 ~ 1 8 日	1 7 2 名		
			第 2 回	2 4 年	7 月 5 日 ~ 6 日	1 6 2 名
			第 3 回	2 4 年	9 月 2 0 日 ~ 2 1 日	1 6 8 名
			第 4 回	2 4 年	1 1 月 2 1 日 ~ 2 2 日	1 6 0 名
			第 5 回	2 5 年	1 月 1 7 日 ~ 1 8 日	1 6 3 名
			第 6 回	2 5 年	3 月 7 日 ~ 8 日	1 6 4 名 (9 8 9 名)

場所 : ベルサール西新宿 (新宿区)

イ 特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程

期日 : 第 1 回 平成 2 4 年 1 0 月 3 日 ~ 5 日 1 0 7 名

場所 : ベルサール西新宿 (新宿区)

② 更新許可申請講習会 1, 245名

ア 産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の収集・運搬課程

期日	第1回	平成24年	4月27日	77名
	第2回	24年	5月11日	175名
	第3回	24年	6月14日	179名
	第4回	24年	9月6日	171名
	第5回	24年	11月9日	169名
	第6回	25年	1月11日	176名
	第7回	25年	3月1日	174名 (1, 121名)

場所 : ベルサール西新宿 (新宿区)

イ 産業廃棄物又は特別管理産業廃棄物の処分課程

期日 : 第1回 平成24年12月18日～19日 124名

場所 : ベルサール西新宿 (新宿区)

③ 特別管理産業廃棄物管理責任者講習会 2, 652名

期日	第1回	平成24年	4月26日	174名
	第2回	24年	5月10日	130名
	第3回	24年	5月16日	125名
	第4回	24年	6月7日	137名
	第5回	24年	6月8日	168名
	第6回	24年	7月4日	176名
	第7回	24年	9月7日	178名
	第8回	24年	10月25日	170名
	第9回	24年	10月26日	170名
	第10回	24年	11月8日	171名
	第11回	24年	12月12日	159名
	第12回	24年	12月13日	127名
	第13回	25年	1月10日	126名
	第14回	25年	2月21日	167名
	第15回	25年	2月22日	162名
	第16回	25年	3月12日	163名
	第17回	25年	3月13日	149名

場所 : ベルサール西新宿 (新宿区)

④ 特別管理産業廃棄物管理責任者講習会 (医療関係機関等対象) 291名

期日	第1回	平成24年	10月17日	139名
	第2回	25年	2月14日	152名

場所 : 第1回 日本医師会館 (文京区)
 第2回 ベルサール西新宿 (新宿区)

(3) 相談指導事業

平成14年度から専任相談員を配置して相談指導事業を行っている。24年度の相談件数は、2,194件で、前年度に比較して164件減少した。

平成24年度の相談実績

I 照会・相談・質問 区分内訳			(2,194件の内訳)		II 照会・相談・質問者 内訳		III 照会・相談・質問 内容内訳	
電話	処理先照会	1,365	排出事業者	1,354	会員紹介	1,401	法令照会	316
	相談事項	292	処理業者	294	処理方法	117	契約書・管理票	214
	質問事項	475	建設業関係	211	リサイクル関連	8	建設廃棄物	8
面接 WEB	相談・質問	62	行政機関	47	許可関係	27	その他	103
計		2,194	コンサル	17				
			医療機関	99				
			一般都民	172				

2. 環境対策事業 (公益的事業)

(1) 環境活動

4月21日～22日に開催された「アースデイ東京 2012」に青年部が参加し、CSR、環境活動の啓発や復興支援活動を行った。

また、10月26日に開催された「産業廃棄物と環境を考える全国大会」に参画し、パネリストを務めた(会長)ほか、開催の協力業務を担当した。

(2) 環境対策事業

該当事業なし。

(3) 災害廃棄物対策事業

東京都などと連携・協力し、引き続き災害廃棄物処理支援を行った。

3. 普及事業 (その他事業)

(1) 普及事業

1) 普及・広報活動

協会の社会的意義や取り組み状況などを、機関誌『とうきょうさんばい』をはじめ、ホームページ、環境展(平成24年5月22～25日)などで紹介し、広報に努めた。

また、安全に関するポスターを全会員に2回配布し、普及啓発に努めた。

2) 協会発行図書等の有償頒布

主な有償頒布図書

マニフェストシステムがよくわかる本	85部
一目でわかるマニフェストの書き方(CD)	11部
産業廃棄物適正処理実務のポイント	27部
建設廃棄物処理委託契約書	1,009部
建設廃棄物処理委託契約書及び記入例	169部

車両表示板作製あっせん受注実績

	*会社数	受注枚数
マグネット(着脱)式	41社	125組
シート(固定)式	18社	43組
合計	59社	168組

*会社数は、複数の形式を受注したものを整理した純数

3) 産業廃棄物管理票(マニフェスト)普及事業

廃棄物処理法で義務づけられている、産業廃棄物管理票(マニフェスト)について、(公社)全国産業廃棄物連合会及び建設六団体副産物対策協議会から受託し販売した。

また、電子マニフェストシステムについては、協会を通じての加入受付を行うとともに、電子マニフェストの運用を円滑に行うための「電子マニフェスト用産業廃棄物送り状(受渡確認票)」〔連合会発行〕の販売を行った。

産業廃棄物管理票普及実績

種類		単票	連続票	計
産業廃棄物	直行用	310,400セット	353,000セット	663,400セット
	積替用	24,400セット	103,000セット	127,400セット
建設系廃棄物		534,700セット	413,500セット	948,200セット
合計				1,739,000セット

電子マニフェスト用産業廃棄物送り状頒布実績

電子マニフェスト用産業廃棄物送り状(受渡確認票)	5,230セット
--------------------------	----------

(2) 機関誌の発行事業

会員に対する基本的な情報伝達手段である、機関誌『とうきょうさんばい』は第260号から271号まで計12号を発行した。

内容は、協会、(公社)全国産業廃棄物連合会、環境省、東京都の動向等を中心に確実性と速報性に富んだものとして誌面の充実を図った。

<主な記事>

- ① 健全な静脈ビジネスの発展に向けた講習会
第6回「産業廃棄物やりサイクルなどの静脈産業を巡る動き」で講演
- ② (公社)全国産業廃棄物連合会「第48回関東地域協議会」を開催
環境省・産廃課長が「放射性物質に汚染された廃棄物への対応について」で講演
- ③ [第57回定時総会]
平成23年度事業報告と決算報告
会長再任など新役員選任、一般社団法人への移行を承認
- ④ [新任役員就任の抱負]
- ⑤ [建設廃棄物委員会]
施設見学会開き、災害廃棄物処理の現状などについて学ぶ
- ⑥ [安全衛生研修会]
産業廃棄物処理業の安全衛生管理体制等について
- ⑦ [多摩支部・施設見学会]
- ⑧ [24年度国内外処理施設見学研修会]
石巻市被災児童へ義援金贈呈、名取市等視察し被災地の復興願う
- ⑨ [青年部だより]
全国青年部協議会が第8回全国大会を「晴れの国」岡山県で開催
当協会及び青年部4社が環境省産業廃棄物課長賞を受賞
- ⑩ [新年のご挨拶]
「年頭にあたって」東京産業廃棄物協会会長
「世界で最も環境負荷の少ない都市の実現を目指して」東京都環境局長
- ⑪ [第58回定時総会]
平成25年度の事業計画案と予算案を満場一致で承認可決
- ⑫ [女性部だより]
平成24年度関東地域協議会女性部会交流会
お茶の淹れ方実演あり、生演奏ありと笑顔あふれる交流会に

(3) 会員事業

1) 会員研修事業

会員企業における、経営基盤の安定、法令の習熟、廃棄物処理知識の充実、

資質の向上を図るため、経営者レベル、実務者レベルなど各職層に合わせた研修会、講習会を実施した。

① 安全衛生研修会 [会員対象] 202名

ア 第1回安全衛生研修会

期 日 : 平成24年 6月28日 26名
内 容 : 粉じん作業に係る特別教育のすすめ
講 師 : 高俊興業(株)労務安全教育グループ
場 所 : グリーンホール (千代田区)

イ 第2回安全衛生研修会

期 日 : 平成24年 8月28日 43名
内 容 : 労働災害防止対策・安全衛生自主点検について
講 師 : 東京労働局
場 所 : グリーンホール (千代田区)

ウ 第3回安全衛生研修会

期 日 : 平成24年 10月24日 51名
内 容 : 放射線に関する講習会について
講 師 : 東京労働局
場 所 : グリーンホール (千代田区)

エ 産業廃棄物処理業におけるリスクアセスメント推進研修会

期 日 : 平成25年 2月21日 40名
内 容 : 産業廃棄物処理業におけるリスクアセスメントの必要性
基本と実施に向けて / 体験 [演習]
講 師 : 中央労働災害防止協会
場 所 : グリーンホール (千代田区)

② 医療廃棄物勉強会 [感染性廃棄物許可取得会員対象] 65名

ア 第1回

期 日 : 平成24年 7月18日 34名
内 容 : 電子 manifests の基本と仕組みを学ぶ
医療廃棄物適正処理の新しいシステムについて
講 師 : (公財) 日本産業廃棄物処理振興センター
(公財) 東京都環境公社

場 所 : 協会会議室

イ 第2回

期 日 : 平成24年 9月26日 31名
内 容 : 電子 manifests の基本と仕組みを学ぶ
医療廃棄物適正処理の新しいシステムについて

講師：（公財）日本産業廃棄物処理振興センター
（公財）東京都環境公社

場所：協会会議室

③ 国内処理施設見学研修会 [会員対象] 36名

期日：平成24年10月5日～10月6日

訪問先：宮城県石巻市役所（修学支援のための義援金210万円を贈呈）

等 処理施設見学（宮城県仙台市内）

宮城県名取市閑上地区、仙台空港ほか視察

2) 会員交流・増強事業

① 会員の連携強化と協会の活性化を図るため、総会後の懇親会、賀詞交歓会等の交流事業を行った。また、部門別においても、多摩支部、青年部、女性部の諸活動を積極的に行った。

さらに、法人化30周年記念事業積立金の積立を行った。

② 会員数の維持・増加を図るため、許可申請に関する講習会、東京都受託事業等において、協会案内を配布し入会を呼びかけるなど、あらゆる機会を活用して会員数の拡大に努めた。

また、新入会員から協会への要望等を聞くため、意見交換会を2回開催した。

会員数の推移

	正会員	賛助会員	計
平成23年度末会員数	572	68	640
平成24年度入会者数	13	6	19
〃 退会者数	8	7	15
平成24年度末会員数	577	67	644

③ 協会事業の進展のため、(公社)全国産業廃棄物連合会、関東地域協議会の諸活動に参画し、積極的に情報交換等を行った。また、排出事業者等の諸団体と適正処理の推進と業界発展に向け、協力・交流を継続した。

3) 顕彰・表彰事業

① 優良従事者表彰

平成25年3月の常任理事会において、平成25年度被表彰者選考委員会を開催し、会員各社に推薦を求め提出された候補者を対象として、表彰基準に従い、業績、年齢、勤続年数などを資料として、31名の方々を表彰することとした。

4. 管 理 運 営

(1) 総 会 (2回)

第57回定時総会 期 日 : 平成24年 5月23日
場 所 : 青山ダイヤモンドホール (港区)
議 案 : ①平成23年度事業報告承認の件
②平成23年度決算報告承認の件
③理事、監事全員任期満了につき選任の件
④一般社団法人への移行認可申請に関する件
⑤定款変更案の停止条件付決議に関する件
⑥関連規程案の停止条件付決議に関する件
出席者 : 469名 (内委任状358名)

第58回定時総会 期 日 : 平成25年 1月25日
場 所 : 青山ダイヤモンドホール (港区)
議 案 : ①平成25年度事業計画案承認の件
②平成25年度予算案承認の件
出席者 : 396名 (内委任状303名)

(2) 理事会 (9回)

第294回理事会 期 日 : 平成24年 4月11日
第295回理事会 期 日 : 平成24年 5月 9日
第296回理事会 期 日 : 平成24年 6月13日
第297回理事会 期 日 : 平成24年 7月11日
第298回理事会 期 日 : 平成24年 9月12日
第299回理事会 期 日 : 平成24年11月14日
第300回理事会 期 日 : 平成24年12月12日
第301回理事会 期 日 : 平成25年 1月 9日
第302回理事会 期 日 : 平成25年 3月13日

(3) 常任理事会 (18回)

平成24年	4月11日	平成24年	4月24日	平成24年	5月 9日
平成24年	6月13日	平成24年	6月26日	平成24年	7月11日
平成24年	7月24日	平成24年	9月12日	平成24年	9月25日
平成24年	10月23日	平成24年	11月14日	平成24年	11月27日
平成24年	12月12日	平成24年	12月25日	平成25年	1月 9日
平成25年	2月26日	平成25年	3月13日	平成25年	3月26日

5. 委員会活動

(1) 総務委員会

25年度の事業計画、予算に関する基本的事項、横断的事項について協議し、調整を行った。特に役員会の開催数の合理化、法人化30周年記念事業の実施に向けた体制整備、東京直下型の地震対応に向けた本部や災害廃棄物処理の体制のあり方などについて方向性を検討した。また、分科会として法制度検討委員会は、合宿方式による集中検討など熱心に活動を進め、その成果の一部は、東京都への要望などに活かされた。

(2) 広報委員会

計画通り、毎月1回の委員会を開催し、機関誌『とうきょうさんぱい』を発行した。協会ホームページの更新作業は遅延しているが、現行のホームページでの情報発信にも努めた。

法改正に関しては、協会の法制度検討委員会での検討事項を中心に『とうきょうさんぱい』にその状況を掲載した。また、労働安全衛生に関しては、開催された研修会を取材し、その記事を掲載した。

広く会員からの意見を求めていくことについては、電子媒体の準備の遅延からか、意見を頂戴できることが極めて少なかった。

法人化30周年記念事業については、次年度から本格的に計画を立案していくことにした。

広報委員数の充実を図るため、希望者を募っているが、残念ながら、希望者はなかった。どうするかについては、次年度以降も課題としなくてはならない情勢である。現在の委員の皆様には業務多忙な中、極めて勤勉に協力を頂いているが、これ以上の無理をお願いするわけにはいかない状況である。

(3) 中間処理委員会

当委員会は平成24年度の活動方針として

- ・ 中間処理業が抱える諸問題、資源循環、リサイクルに関する事項についての調査、検討
- ・ 行政からの諮問にも応えられる体制整備
- ・ 放射性物質汚染対処特措法への対応

を掲げて取り組んだ。

また、中間処理業は排出事業者や収集運搬業者との関連が深いことから、収集運搬委員会との連携強化も重要な課題と捉え活動した。

具体的には、中間処理は範囲が広いことから3分科会（焼却、中和・脱水、破碎・圧縮）を設置、それぞれ専門的な見地から分科会ごとに会合を開催するこ

とし、本年度は各分科会とも3回の会合を実施した。

放射性物質汚染対処特措法への対応としては、9月および3月に「放射性物質汚染対処特措法、特定産業廃棄物に関するアンケート調査」を実施し、現状の把握、問題点の分析を行った。

また、収集運搬委員会と8月に合同委員会を実施し、契約書と異なる危険物の混入等の問題解決に向けて意見交換を行った。

(4) 安全衛生推進委員会

本委員会は会員各社の安全衛生活動に寄与すべく研修・講習会を中心に活動を行ってきた。6月には粉じん作業にかかる特別教育を行い修了証を発行、8月には東京労働局より安全専門官を講師として招き、産業廃棄物処理業の安全衛生管理体制等について講習会を行った。また、10月には放射線に関する講習会を行い多くの関心を得た。2月には恒例となった産業廃棄物処理業におけるリスクアセスメント推進研修会を行った。

労働安全衛生に対する意識高揚を図る表彰制度に関しては、安全衛生表彰細則などを検討し、顕彰及び表彰規程に盛り込み、安全衛生活動により顕著な成績を収めた協会正会員の企業及び事務所・役職員を対象とした、表彰の準備が整った。

(5) 医療廃棄物委員会

平成24年度の主な活動テーマとしては、従来の医療廃棄物の処理のシステムを変更し、電子マニフェストと第三者評価制度の認定業者の組み合わせに移行したことである。この新しいシステムを正しく把握し周知徹底するために、委員会として7月と9月に電子マニフェストの基本と医療廃棄物適正処理の新しいシステムについて研修会を開催した。また3月にはこの新しいシステムを再徹底するため再度研修会を開き、新システムの内容と環境配慮契約法と処理料金の低価格化問題について学んだ。パネルディスカッションを行い意見交換をしたが、やはり今後は排出事業者にも参加頂くのがより効果的な研修会になることに気づいた。

さらに、11月には施設見学会で釜石市を訪れ、釜石市災害廃棄物中間処理施設、釜石市役所、新日鐵住金火力発電所、ムゲンシステム(株)を見学し、震災の復興状況を確認した。

(6) 収集運搬委員会

24年度も委員会を年6回、施設見学会を1回開催した。

継続して取り組んでいる災害廃棄物処理支援協力活動については、首都直下型地震を想定した対応として「資機材等保有アンケート」を9月に実施し、市区町村ごとの協力車輛数の把握を行った。

その他、(公社)全国産業廃棄物連合会の収集運搬部会での検討内容を委員会内でも検討し、情報の共有も図った。

また、中間処理委員会と連携した活動を行うにあたり6月及び8月に合同委員会を開催した。適正処理に向け、廃棄物のデータシートの徹底や、危険物の分別徹底に向け活動を行うこととした。

11月には長崎県佐世保市のバイオマス発電所「豪力」にて施設見学会を行った。

(7) 建設廃棄物委員会

平成24年度は延べ4回の委員会と2回の施設見学会を開催し、建設廃棄物に係る諸問題について検討、協議を重ねた。第1回委員会は4月に開催し、「再生砕石問題についての対応策」について協議し、短期・中期・長期対応策事項を決定した。第2回委員会は10月に開催し、「石膏ボードリサイクルについて」「環境配慮契約法について」の動向確認を行った。第3回委員会は12月に開催し、「建設廃棄物適正処理部会について」「再生砕石問題について」「施設見学会について」の検討を行った。第4回委員会は1月に開催し、「石綿含有廃棄物の処理について」「千葉県外の廃棄物受入制限の変更について」「残置ゴミについて」の意見交換を行った。なお、施設見学会は23年度に実施できなかったため、7月に高俊興業(株)と(株)リサイクルピア、2月に新井総合施設(株)の2回実施した。

(8) 多摩支部

24年度は6月に多摩支部会を開催し、今後の事業計画及び法制度検討委員会などの報告を行った。支部会終了後、東京都多摩環境事務所廃棄物対策課の方々を講師に迎え、多摩地区における不適正事案及び今後の指導方針、放射性物質汚染対処特別措置法の概要、許可申請書類手引きの改定などについての研修会を行った。

また、9月に実施した施設見学会は、群馬県にある焼却溶融施設(株)エコロジスタ群馬ハイブリットクリーンセンターを訪問し、焼却溶融処理後のスラグを人工砂化することによる廃棄物の軽減化や、廃熱発電などによる環境に配慮した施設を見学した。見学会終了後、四万温泉で宿泊し、支部会員同士交流を深め、充実した見学会・懇親会となった。

3月には多摩支部幹事会を開催し、新年度の計画の日程や、多摩支部発足20年を迎えるにあたってのイベント等についても協議した。その後行われた東京都多摩環境事務所の担当の方々との適正処理意見交換会では活発な意見が交わされ、大変有意義な意見交換会となった。

(9) 青年部

24年度は、全国産業廃棄物連合会青年部協議会第8回全国大会（岡山県）を軸に、そのメインテーマである「CSR」を各方面へ展開していく取組みが全国で企画されたなか、東京青年部として以下の活動を実施した。①恒例となった「アースデイ東京」の参画では部員企業が従業員に対して社会貢献の場を提供することができた。②高尾山清掃ボランティアでは地域社会や環境保全に大きく貢献することができた。③関東ブロック総会時には全国一斉清掃として柏駅前を清掃し活動規模の拡がりを感じた。④関東の部員企業とともにペットボトルキャップを集め世界に必要なワクチンとなるよう寄付ができた。これらの活動を通して、部員企業が社会との取組みや地域との取組み、ステークホルダーとの取組みなど様々な「CSR」を活発化させる一年となった。

他に、若手社員研修会では、話題のfacebookをビジネスにどう生かすかといった若手の発想力を刺激した勉強会、異業種交流会では、社会保険未加入問題をテーマに講演やディスカッション、賀詞交歓会当日の勉強会では、BCP策定に関する助成を受けるにはどうしたらよいかという講演などを実施した。また、幹事会を計10回開催した。

(10) 女性部

平成24年度の女性部の活動は、外部からの講師を招いて「持続可能なエネルギー」「震災がれき」「放射能」「産廃処理業の法律の縛り」等多岐にわたるテーマで充実した部内勉強会が開催できた。

今年度が一番大きな企画としては、10月に東京で開催された「産業廃棄物と環境を考える全国大会」に合わせて関東地域協議会女性部会が実施した「e-Lady21 のつどい」と銘打った講演会と昼食会のイベントである。夏前から千葉及び埼玉県産業廃棄物協会女性部会の代表と打合せを行いながら準備をした。会長をはじめ協会の皆様のご理解とご協力のお陰で、10月26日当日には200名以上の参加者を集めて盛大に開催することができた。同時期に群馬県協会にも女性部会が誕生している。

さらに、24年度最後の事業として、2月に東京女性部主催で「関東地域協議会女性部会交流会（講演会・賀詞交歓会）」を開催した。また協会全体で実施した東日本大震災被災校支援のベルマーク回収事業も女性部が企画運営にあたった。こうした協会全体で行なう支援活動という非常に意義のある活動もできた。

今期も活動的で、とても収穫の多い一年となった。平成24年度の勢いを大事にしなが、今後もさらに女性のネットワークの拡大を目標に活動していく。